

平成22年第3回定例会一般質問

平成22年第3回市議会定例会の一般質問が次の日程で行われます。

日 時 9月1日(水)・2日(木)・3日(金)・6日(月) いずれも午前10時から
 ※ 9月2日に関根議員より一般質問通告書の撤回申し出がありました。

質問内容 下表のとおり

問合先 議会事務局(電話 042-387-9947)

9月1日(水)

氏名	発言の表題
鈴木成夫	1 市内の障がい者雇用の現状について (1) 市役所の実態はどうか。近隣企業の特例子会社の例を参考に、雇用創出についてさらなる研究を (2) 地域での理解促進の取り組みとして、中学生の職場体験先として福祉作業所を
	2 小金井市では児童デイサービス事業を今後どのように展開するのか (1) 現状の問題点は何か。担当部署の連携はどうか (2) ピノキオ幼稚園の児童デイサービス事業移行の検討は、メリット、デメリットについて、園舎の検討とは別に市民参加で検証すべき
	3 災害時要支援者名簿の活用のために (1) 現状の取り組みはどうか (2) 実際の災害時に名簿を活用するための具体策はあるのか
	4 東小金井駅発車メロディーにスタジオジブリテーマ曲を採用できないか
小林正樹	1 市民協働センター設置に向けて (1) 準備室の活動状況は。進捗状況を問う (2) 第四次基本構想と「協働」のあり方について確認する (3) 町会・自治会を活性化させていく事にもつなげていけないか
	2 観光アピールに力を入れないか (1) イベント・商業などを連携しながら農業学校など年間を通じて小金井に来てもらえる企画ができないか (2) 小金井の観光アピールするホームページをつくらないか (3) コミュニティポータルサイトやツイッターに力を入れるべき (4) 市の年間行事をまとめた観光振興パンフレットをつくらないか
露口哲治	1 個人情報の有益な活用について問う (1) 高齢者の安否確認や災害時に必要とされている要援護者リストの作成や、学校児童生徒、教職員の名簿作成や町会名簿作成は必要だ、現状と個人情報保護についての市の解釈を問う
	2 老人健康保険施設への通い手段について問う (1) 平成18年4月の介護保険法改正は「介護予防」を進めることだったが、目的を達成できる状況ではない、交通不便な坂下地域住民は、老健施設に行きたくてもたやすく行けない、妙案は無いのか
	3 学童保育の姿、今昔 (1) 夫婦で働かなければ食べていけない、だからしばらくは子どもを預かって…から、夫婦で働ければ持ち家も車も買える、だから子どもを預ける。子どもは学童に入れなくても遊び場はたくさんある。学童に通う年齢期は、自由に遊びを学べるチャンス、その後は塾通い、中学生になれば部活と塾通い。学童保育の実態をどのように認識しているのか

武井正明	<p>1 東大通りの交通安全対策を求める。違法駐車は目に余るものがある (1) 特に昼休み時間帯はひどい状況である。市は実態を把握しているか (2) パーキングメーターを設置しないか</p> <p>2 小金井市健康診査を利用しやすいものにすべきです。 (1) 現在の受診率はどうか (2) 市内の診療機関でしか受診できないのは問題である。 (3) 近隣市の診療機関でも受診できるように改めるべきです。</p> <p>3 財政の現状と今後の運営について (1) 平成21年度決算と繰越金について (2) 今年度歳入見通しについて (3) 職員人件費の推移と今後の主な財政支出について</p>
野見山修吉	<p>1 今でもできる！図書館を情報発信の拠点に (1) 図書館の配架に工夫を (2) 図書館運営方針の見直しはどうか (3) まちづくりの情報収集と発信を (4) 常勤専門職体制の確立と専門的非常勤職員の体制導入を (5) 図書館利用の手引きの工夫を (6) 学校図書館との連携を密に (7) 図書館全体の配置と整備計画を</p> <p>2 市民活動推進条例策定に向けて (1) 経費削減は結果であって、経費削減を目的にNPOを使うな (2) 市民協働事業提案制度の創設を (3) 税制面からの市民活動支援を</p> <p>3 市長の社会経済認識について (1) この20年間は税制面での、大金持ち減税、庶民増税で格差が拡大されてきた。これが、経済面で「失われた20年」といえる状況を生み出した。国や自治体の借金も名目GDPが増えなければ、返済能力以上に増え続けるばかりであるデフレ脱却、格差是正を実現するためには、財政の無駄や官僚利権をなくし、所得再配分機能を拡大する税制改革による財源確保が必要と思うが、どうか。</p>
宮下誠	<p>1 内向き思考を打破し、海外へ目を向けよ (1) 都市・自治体連合の会員都市「浜松市」と連携をしていかないか (2) 第3回都市・自治体連合アジア太平洋支部コンGRESSに代表を送らないか (3) 近い将来、都市・自治体連合（UCLG）へ加入しないか</p> <p>2 マイカップ推進の取り組みと自動販売機の社会的使命 (1) 市の施設にマイカップ・マイボトルの機械を導入しては (2) 自動販売機の技術革新について (3) 環境対策と利便性の享受のバランスとは (4) 災害対策として関係団体と災害時の協定を結ばないか (5) 総合体育館や市民交流センター、市役所など、拠点となる公共施設に新たなタイプの機械を導入しては</p> <p>3 地積調査の迅速化と雇用創出への工夫 (1) 地積調査の概要と、実施されない場合の不都合とは (2) 進捗状況と今後の見通しは (3) ひとり親や障害者への雇用対策について (4) 群馬県太田市の雇用対策を参考にしないか (5) 公共事業の推進を雇用の創出へ結びつけてはどうか</p>

9月2日(木)

中山克己	<ol style="list-style-type: none"> 1 小金井市イメージキャラクター「こきんちゃん」特別住民票交付について 2 市内設置の水利標識及び消火器ボックスの点検・取り替えについて 3 大型バス市内待機場所の確保について 4 ワーク・ライフ・バランス推進に向けて 5 市内産業振興の推進と新たな雇用創出への取組みについて(産業振興プラン改定版から新産業振興プラン策定に向けて)
村山秀貴	<ol style="list-style-type: none"> 1 入札制度について <ol style="list-style-type: none"> (1) 地元業者の受注機会の確保について、請願採択後の改善点は (2) 要望のあった各項目について、どのような対応をしたのか (3) 改善できない項目の理由は何か (4) 公契約条例について 2 玉川上水・小金井桜整備活用計画について <ol style="list-style-type: none"> (1) 計画の進捗状況について。今現在は計画の、どの段階なのか (2) 市の担当すべき業務について。住民説明会、市民協働、補植の苗確保、小金井桜の定義の周知徹底など (3) 今後のスケジュール、計画内で謳われているその他の項目について、緑道整備、便益施設の設置、人道橋の架設など (4) 10年間の長いスパンに耐えうる実効性のある計画を要望する
中根三枝	<ol style="list-style-type: none"> 1 小金井独自の政策として総合シェルターの創設を(高齢者、DV関係、子ども) <ol style="list-style-type: none"> (1) 社会問題となっている高齢者の蒸発について小金井市は調査したか。大丈夫か (2) 組織に所属していない高齢者が気兼ねなく立ち寄って、お茶でも飲みながら何気なく過ごせる場所の確保。場合によって寝泊できる場所の確保を (3) 小金井のDVの状況は (4) 母子世帯の住居の現状は (5) 虐待の現状は (6) 総合的なシェルターが必要ではないか
渡辺ふき子	<ol style="list-style-type: none"> 1 小金井における地場野菜の、地産地消をさらに進めるべき <ol style="list-style-type: none"> (1) 市立の全小中学校で、小金井産の野菜を使った学校給食に取り組めないか。作った人の顔が見える、安全安心な地域の野菜を、子供達の食育に役立てるべき (2) 需要と供給のバランスをとるため、農協経済センターを活用できないか (3) 学校(栄養士)、農家、農協が協議会を持ち、持続可能な供給システムづくりに取り組んで行かないか (4) 小金井ブランドの野菜を、もっと市民に知らせ地域の活性化に役立てるべき。江戸東京野菜やルバーブの販路を拡大し、市民の身近なものに 2 汚れたり落書きされた史跡案内板や建築物の総点検を行い、訪れた人に対し小金井市のイメージアップを図るべき <ol style="list-style-type: none"> (1) 汚れて文字が薄くなった玉川上水遊歩道の案内板や、図書返却ボックスの落書き等が放置されている。定期的に、点検や清掃を行ってはどうか 3 市内の集会施設の使用時間区分を、もっと使いやすいものに改正できないか
田頭祐子	<ol style="list-style-type: none"> 1 子どもに優しいまちづくりを。身体の小さな子どもたちは化学物質の影響を受けやすい。東京都は化学物質が及ぼす子どもへの健康影響を未然に防止するため、化学物質の子どもガイドラインをつくっている。小金井市でも、環境基本条例の中で、未然防止の原則が謳われている。子どもたちが安心して生活できる環境の実現を目指して、市で出来る新たな取り組みや施策の見直しが必要である。 <ol style="list-style-type: none"> (1) もっとも影響を受けやすい胎児や乳幼児への影響を防ぐために、両親学級や乳幼児健診で、石けんのよさを伝える環境学習をおこなわないか (2) 電磁波の影響から身を守るため、予防原則にたった対策は (3) アスベスト被爆を予防するための、現状把握と対策は (4) 通学路や生活道路での農薬被爆を予防する対策は (5) 地域防災会など防災関係の会議の女性委員の割合は (6) 女性の視点を活かした防災マニュアルは策定されているのか

9月3日(金)

漢人明子	<p>1 大きく見直された国勢調査を調査される側から検証する</p> <p>(1) 調査票の配布における調査員への対応の徹底を。3項目(世帯主名、世帯員数、男女の数)の聞き取り、調査員の研修</p> <p>(2) 調査票の提出・回収～やっと全面封入、郵送方式導入に</p> <p>(3) 調査票の補正はどの程度行われるのか。行政情報等の利用の範囲、マンション関係者からの聞き取り</p> <p>(4) 初めてのコールセンターの設置</p> <p>2 官製ワーキングプアの改善について</p> <p>(1) 非常勤職員制度の見直しの進行状況。昨年8月にスタートした「非常勤嘱託職員任用制度協議会」の協議の状況と今後の予定を問う</p> <p>(2) 公契約条例の策定体制とスケジュール。公契約条例は第3次行革大綱に、公正労働基準、男女共同参画、福祉等の社会的価値の実現の推進のために、今年度から検討を開始し2012(平成24)年度に実施とうたわれている。実施とは条例施行と考えてよいか。策定体制とスケジュールを問う</p>
水上洋志	<p>1 子育て子育て支援のさらなる充実のために</p> <p>(1) 子どもの虐待防止対策の強化を。虐待に関する小金井市の現状について。虐待の防止、問題の解決のために第3者機関の設置などの検討を</p> <p>(2) 育児に困難をかかえる家庭への支援強化を求める</p> <p>(3) のびゆく子どもプランの推進体制の確立・強化について</p> <p>(4) 推進体制の現状と問題について</p> <p>(5) 「子ども発達支援センター」などの検討・具体化の促進を</p> <p>2 「東小金井駅北口土地区画整理事業区域内公共施設整備構想」の具体的検討を</p>
紀由紀子	<p>1 児童虐待の防止について</p> <p>(1) 児童虐待の実態</p> <p>(2) 母親の育児不安解消や孤立化させないための対策の更なる拡充</p> <p>(3) 「こんにちは赤ちゃん事業」の実施状況・課題</p> <p>(4) 子育て相談窓口(子ども家庭支援センター等)</p> <p>(5) 一時保育・ひろば事業・親支援プログラム</p> <p>(6) 「のびのびこがねいっ子」(みんなで子育て応援ブック)「父親ハンドブック」の周知・活用</p> <p>(7) 啓発のためのセミナーを開催しないか</p> <p>(8) 関係機関の連携の強化</p> <p>2 「介護支援ボランティア・ポイント制度」を導入しないか</p> <p>(1) 介護支援ボランティアの小金井市の状況</p> <p>(2) 「介護支援ボランティア・ポイント制度」を導入しないか</p>
片山薫	<p>1 だれもが住みやすい町にするために。小金井でできることは</p> <p>(1) 障がい者の就労と地域生活支援で、北海道伊達市を参考にしてみないか</p> <p>(2) 伊達市や他地域と比較して、児童デイサービスの状況は</p> <p>(3) 障がい者就労・地域生活支援の今後の展望と、「子どもの権利に関する条例」に基づく(特に13条と15条)、障がい児の支援体制の整備について</p> <p>2 「小金井市子どもの権利に関する条例」を有効に活用するために</p> <p>(1) 条例の庁内用の手引きはいついつできるのか。スケジュールと検討状況をあきらかにしてほしい</p> <p>(2) 他の条例の手引きの作成スケジュールはどのようなものなのか</p> <p>(3) なにが問題となって作成が遅れているのか</p> <p>(4) 条例15条に基づく、市の組織改正は、どのように検討されるのか</p> <p>(5) 「のびゆくこどもプラン」では条例の推進計画は具体的に示されなかった。独自にどのように進めていくのか展望と計画を問う</p> <p>(6) (4)に加え、他の条項についてもどのように検討されているのか</p>

9月6日(月)

<p>板倉真也</p>	<p>1 安心して利用できる介護サービスへ (1) 介護費用自己負担への助成施策の拡充を (2) 食費助成について (3) 限度額を超えた自己負担への助成について (4) 訪問介護の利用時間、同居規制の枠外への助成について (5) 2012年度からの第5期介護保険事業計画にあたって、大幅な制度改定が言われていることへの見解を問う</p> <p>2 買い物不便地域への施策を問う (1) 店舗誘地・移動販売車の誘地に本腰を入れよ (2) 野川・七軒家ココバスの充実を</p>
<p>遠藤百合子</p>	<p>1 道徳教育のすすめ。教育委員会の小中学校での各種指導には優れている観点が多く、特に現場での指導には頭の下がる思いである。一般的に子どもたちの規範意識は低いと言われており道徳教育の充実を図っていくことは大きな意義を持つ (1) 小中学校での道徳教育の在り方は (2) 家庭や地域、学校などが連携していくことが望ましい (3) 第四小学校と学芸大の実践プログラムを活かしてみないか (4) 子どもたちの「心」の充実を図るためには</p> <p>2 貫井南町東南地区へココバスを</p> <p>3 薬物乱用防止を推進していくために</p>
<p>青木ひかる</p>	<p>1 買ってはいけない「駅前ホール」。再び、市民交流センターの取得中止を求める (1) 駅前に建てることでの市民への損失 (2) 将来の負担は年4億円以上、財政運営に問題はないのか (3) 第3次行革大綱で示された以上の、市民サービス低下を招くのではないか (4) 付帯設備はUR言いなりのどんぶり勘定でいいのか (5) 買わなかった場合の賠償請求問題について (6) 権利床の扱い—前例がなければ小金井で前例をつくれ</p>
<p>森戸洋子</p>	<p>1 若者の雇用対策と引きこもりの支援を (1) 若者の引きこもりへの支援について (2) 高校・大学卒の就職難と雇用対策について市の見解を問う</p> <p>2 地域主権改革について再び問う (1) 地方政府基本法の制定について (2) 一括交付金化について (3) 公的保育制度の堅持について (4) 高齢者医療制度の新制度と国民健康保険の広域化で、市民の生命と健康が守られるのか</p> <p>3 ごみ処理施設問題について市の見解を問う (1) ごみ処理施設建設の進捗状況を問う</p>